

第281回柏崎地域早期景気観測調査 報告書

— 令和5年4月期 —

【インデックス】

- 1 全産業(P.2)
- 2 建設業(P.3)
- 3 製造業(P.4)
- 4 卸売業(P.5)
- 5 小売業(P.6)
- 6 サービス業(P.7)

【調査方法】

会員企業1社に対して、毎月下旬に【業況】【売上】【採算】【資金繰り】
【仕入単価】【従業員】【資金借入難易感】の7項目について「前年同月比」
(※従業員DIについては本期水準) および「向こう3ヵ月の先行き見通し」の
調査を依頼、翌月上旬までに寄せられた回答を集計し、その結果をDI値で表し
ます。

DI値は、実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相
対的な広がりの意味します。

【DI値とは】

DI値(景況判断指数)とは、「増加・好転」などの回答割合から「減少・
悪化」などの回答割合を引いたもので、景況感の方向、強弱を示します。

【業況】…「好転」-「悪化」 【売上】…「増加」-「減少」
【採算】…「好転」-「悪化」 【資金繰り】…「好転」-「悪化」
【仕入単価】…「下落」-「上昇」 【従業員】…「不足」-「過剰」
【資金借入難易感】…「容易」-「困難」

【調査対象業種】

建設業 総合工事業、設備工事業、職別工事業
製造業 鉄鋼・金属製品・機械器具製造業、食料品・印刷・窯業・土石製品製造業
卸売業 建材・鉱物・機械器具卸売業、飲食料品・衣服等卸売業
小売業 飲食料品小売業、衣料・身の回り品・その他小売業
サービス業 宿泊業、飲食サービス業、生活関連サービス業

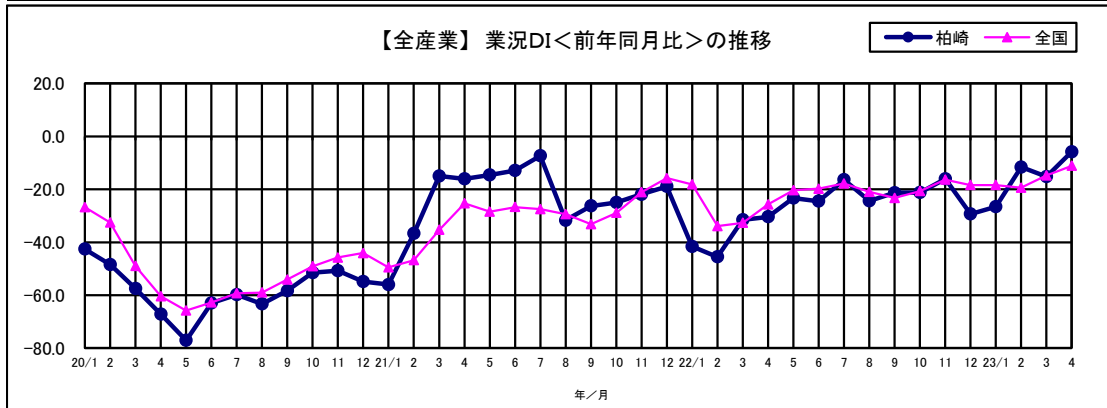
【調査対象数・回答状況】

業種	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	全産業
調査対象数	38	45	27	26	36	172
回答数	20	30	10	12	24	96
回答率(%)	52.6%	66.7%	37.0%	46.2%	66.7%	55.8%

 柏崎商工会議所

◆概況(全産業合計)

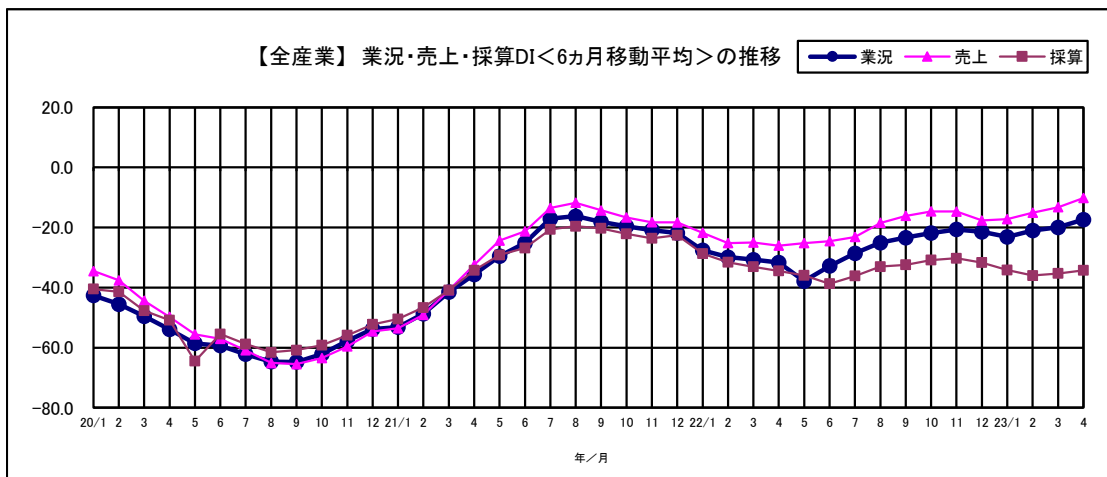
項目		22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	先行き見通し 5月~7月
業況	柏崎	▲16.0	▲29.3	▲26.6	▲11.6	▲15.2	▲5.8	▲14.0
	全国	▲16.4	▲18.4	▲18.4	▲19.4	▲14.8	▲11.1	▲12.9
売上	柏崎	▲12.0	▲30.6	▲13.5	▲8.1	▲0.5	3.8	▲5.3
	全国	0.4	▲0.6	▲2.6	▲3.0	1.9	6.3	▲1.3
採算	柏崎	▲32.4	▲44.6	▲45.0	▲42.5	▲26.6	▲14.6	▲20.0
	全国	▲21.8	▲24.1	▲23.7	▲26.7	▲20.1	▲16.0	▲18.4
資金繰り	柏崎	▲6.7	▲17.7	▲16.0	▲12.1	▲9.7	▲6.4	▲55.4
	全国	▲15.6	▲16.5	▲15.9	▲16.9	▲15.1	▲12.9	▲13.5
仕入単価	柏崎	▲68.0	▲72.5	▲73.6	▲77.6	▲70.4	▲66.5	▲55.4
	全国	▲76.6	▲74.4	▲74.5	▲76.3	▲75.1	▲74.4	▲66.0
従業員	柏崎	17.9	16.7	20.4	14.5	15.4	20.9	24.5
	全国							21.8
資金借入難易感	柏崎	▲2.9	▲7.8	1.7	▲2.1	▲1.7	2.1	▲0.5



<移動平均分析(全産業)>

時系列データを見た場合、データの変化が激しく、基本的な変化の傾向がつかみにくいことがあります。移動平均という方法を用いることにより、データ全体の変化の傾向を解析することができます。

ここでは、業況・売上・採算の三項目について、当該月を含めて過去6か月分の平均値を連続的に求め、グラフ化しています。



【4月期全国全産業の動向】

●全産業合計の業況DIは、▲11.1

サービス業では、客足が回復基調な飲食・宿泊業を中心に、改善した。小売業では、インバウンドの増加で売上が好調な百貨店に下支えされ、改善した。また、製造業では、サービス業等の非製造業での設備投資需要の回復で改善し、卸売業でも、製造業からの引き合い増や、客足が回復する小売業や飲食・宿泊業からの受注増で改善した。建設業でも、政府の補正予算による公共工事の受注増で改善した。原材料・エネルギー価格の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト負担増、度重なる仕入価格の高騰に価格転嫁も十分に行えていない等、経営課題は山積も、経済活動の回復が続き、業況は2021年12月ぶりに全業種で改善した。

●先行き見通しDIは、▲12.9

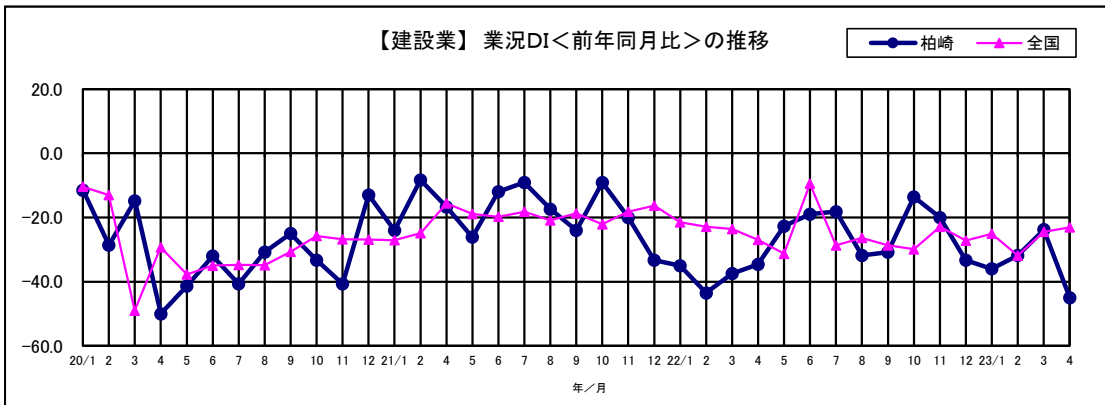
5月8日のコロナの5類移行に伴い、経済活動のさらなる回復による売上改善を期待する声の小売業・サービス業を中心に多く聞かれた。一方、原材料価格の高止まりやエネルギー価格の高騰継続によるコスト負担増や、人手不足による受注機会の損失が懸念される。また、コスト増に見合う価格転嫁も十分に追いついていない中、海外経済の鈍化など、先行きへの不安は根強く、慎重な見方となっている。

【4月期柏崎全産業の動向】

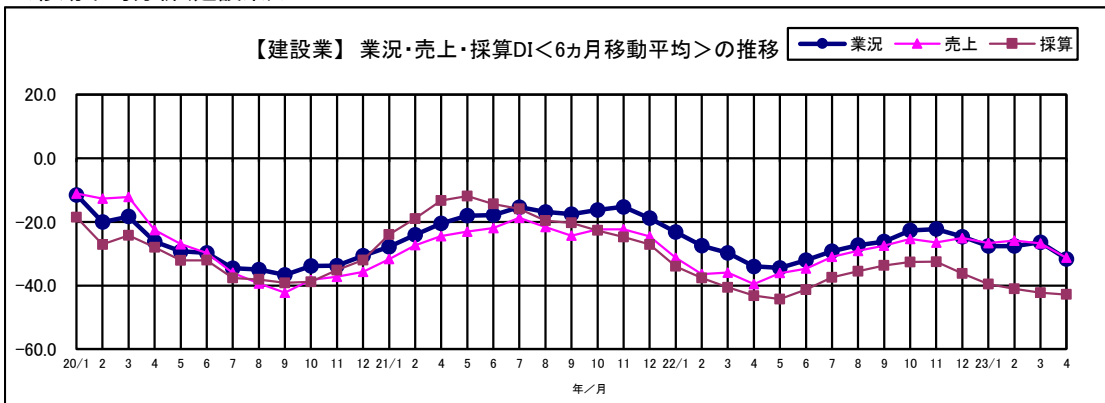
業況、採算、資金繰り、仕入れ単価DIにおいてマイナス幅の縮小が見られた。売上DIはプラス域へと転じた。

【建設業】

項目		22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	先行き見通し 5月～7月
業況	柏崎	▲20.0	▲33.3	▲36.0	▲31.8	▲23.8	▲45.0	▲25.0
	全国	▲22.9	▲27.2	▲25.1	▲31.9	▲24.5	▲23.1	▲19.1
売上	柏崎	▲16.0	▲25.0	▲32.0	▲40.9	▲28.6	▲45.0	▲30.0
	全国	▲16.0	▲17.5	▲17.1	▲22.4	▲11.9	▲13.8	▲16.6
採算	柏崎	▲36.0	▲45.8	▲52.0	▲50.0	▲38.1	▲35.0	▲25.0
	全国	▲30.1	▲31.3	▲29.9	▲37.2	▲26.6	▲25.8	▲26.8
資金繰り	柏崎	▲20.0	▲25.0	▲20.0	▲13.6	▲9.5	▲10.0	▲5.0
	全国	▲6.6	▲10.0	▲7.8	▲11.4	▲12.8	▲10.5	▲12.6
仕入単価	柏崎	▲72.0	▲70.8	▲64.0	▲77.3	▲81.0	▲70.0	▲50.0
	全国	▲84.6	▲83.8	▲81.4	▲81.4	▲84.4	▲83.1	▲71.4
従業員	柏崎	40.0	37.5	28.0	27.3	19.0	15.0	30.0
	全国							31.7
資金借入難易感	柏崎	▲4.0	▲8.3	▲4.0	▲4.5	▲4.8	15.0	15.0



<移動平均分析(建設業)>



【全国建設業の動向】

建設資材価格の高止まりやエネルギー価格の高騰に加え、住宅関連の民間工事において一服感が見られるものの、政府の補正予算による公共工事の受注数増加に下支えされ、改善。
 <日本商工会議所に寄せられた声>
 ・「政府の補正予算により、公共工事の発注数が増加している。一方で、技術者の人手不足により、工事の進捗遅れや受注を取りやめるケースも発生している。資材価格やエネルギー価格の高騰等で採算も悪化しているが、人材確保に向け、採用や賃上げに取り組んでいく」(一般工事業)
 ・「現場ごとに契約しており、価格転嫁はある程度できているが、長工期の案件は工事中に材料が値上がりすることもあり、収益を圧迫している」(管工事業)

【柏崎建設業の動向】

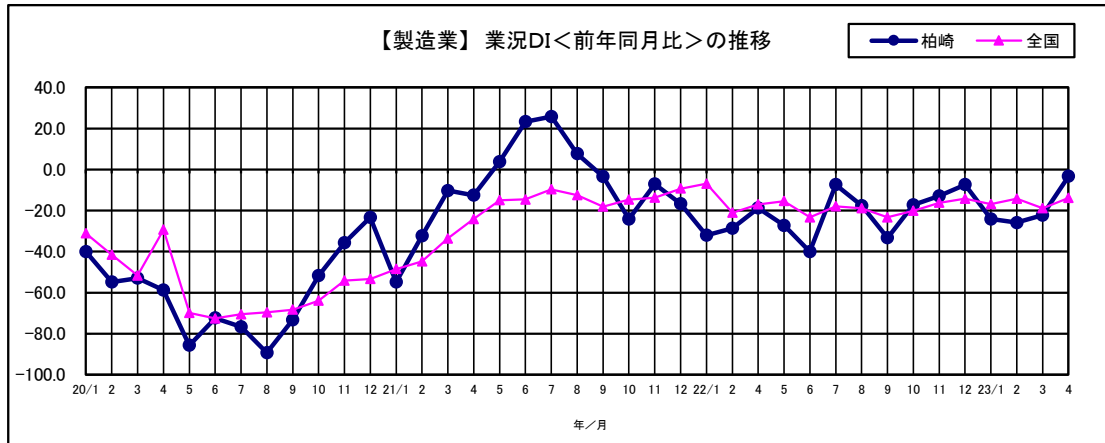
業況・売上・資金繰りDIにおいてマイナス幅の拡大が見られた。先行き見通しではいずれもマイナス幅の縮小となる見通しである。

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

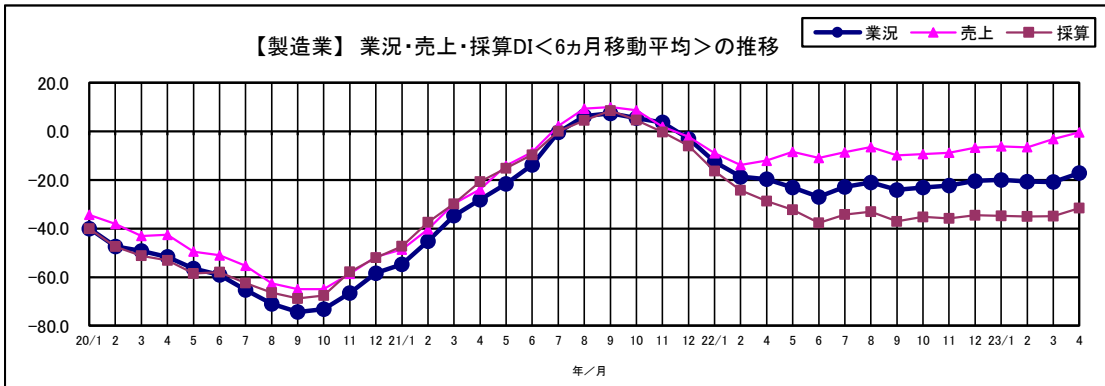
・「快適リフォーム補助はありがたいが抽選が良いのかわからないが、これだけ人気があるのならもう少し多い予算を付けてもらいたい。5月に残りの抽選だが、着工も1ヶ月遅れ。しかも外れる場合もある。」

【製造業】

項目		22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	先行き見通し 5月~7月
業況	柏崎	▲12.9	▲7.4	▲24.1	▲25.9	▲22.2	▲3.3	▲26.7
	全国	▲16.2	▲14.2	▲16.9	▲18.4	▲18.9	▲13.9	▲14.1
売上	柏崎	3.2	▲11.1	0.0	▲11.1	0.0	16.7	▲6.7
	全国	5.1	10.4	4.2	▲1.6	1.2	8.4	▲0.6
採算	柏崎	▲29.0	▲25.9	▲41.4	▲37.0	▲33.3	▲20.0	▲33.3
	全国	▲27.0	▲24.8	▲25.0	▲29.5	▲25.5	▲21.2	▲21.6
資金繰り	柏崎	3.2	▲7.4	▲17.2	▲11.1	▲7.4	▲10.0	▲16.7
	全国	▲18.9	▲14.4	▲17.7	▲18.4	▲17.1	▲11.8	▲11.3
仕入単価	柏崎	▲77.4	▲85.2	▲79.3	▲77.8	▲81.5	▲76.7	▲60.0
	全国	▲82.4	▲82.1	▲81.3	▲82.0	▲78.7	▲76.5	▲65.5
従業員	柏崎	16.1	3.7	20.7	11.1	11.1	23.3	23.3
	全国							13.9
資金借入難易感	柏崎	6.5	7.4	6.9	3.7	7.4	10.0	3.3



<移動平均分析(製造業)>



【全国製造業の動向】

海外経済の停滞により電子部品関連の需要減は継続する一方、小売・サービス業などの非製造業における設備投資需要が回復し、改善。食料品関連業者からは、客足が回復する飲食・宿泊業からの受注が増加したとの声も聞かれた。

<日本商工会議所に寄せられた声>

・「インバウンド需要の増加や人流の回復に伴い、顧客先である外食産業からの発注数が増加している。原材料価格の高騰分に関する値上げは受け入れられているが、電気代等も高騰しているため、全体のコスト増に見合う価格改定が行えるような商品づくりを行っていく」(パン・菓子製造業)

・「経済活動が戻りつつある中で、顧客の設備投資が予定通り動き始めている。需要に対応するべく人材確保が急務な状態である」(一般産業用機械製造業)

【柏崎製造業の動向】

業況・採算・仕入れ単価DIといずれもマイナス幅の縮小が見られた。また売上DIはプラス域に転じた。

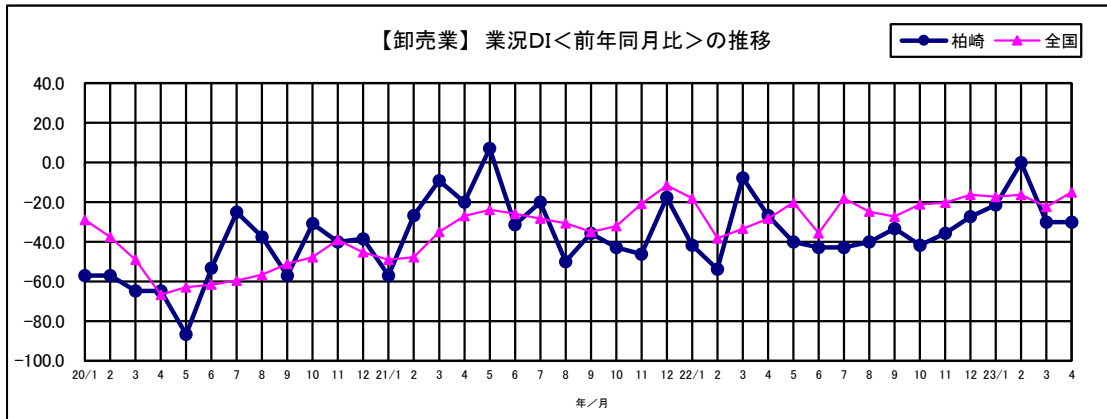
<柏崎商工会議所に寄せられた声>

・「来春卒業者の新卒採用を行っているが、年々厳しさが増している」

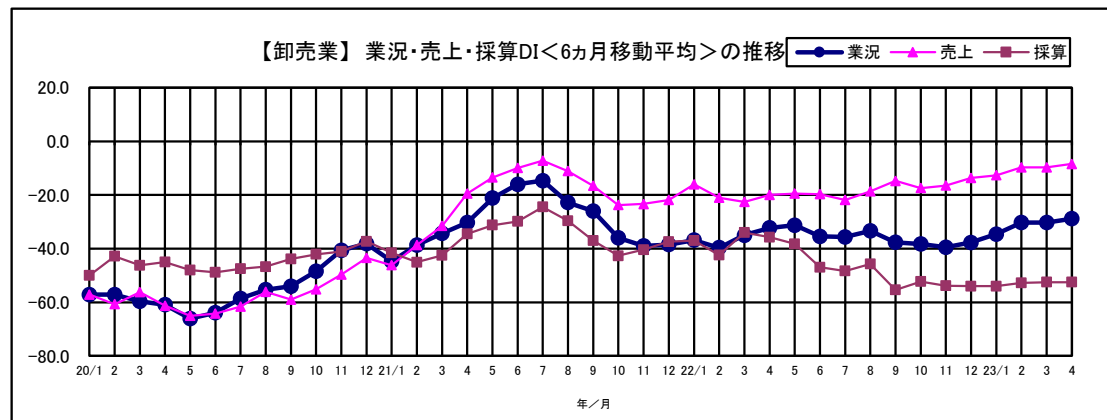
・「様々な物の価格推移がバラバラで価格設定に苦慮する。消耗品等小さな物の値上げは単価変更の資料にしづらい割合であるが確実に利幅に影響がある。先の受注に少し不穏な空気が始めているので流通がスムーズでない感がある」

【卸売業】

項目		22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	先行き見通し 5月~7月
業況	柏崎	▲ 35.7	▲ 27.3	▲ 21.4	0.0	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 20.0
	全国	▲ 20.3	▲ 16.3	▲ 17.3	▲ 16.4	▲ 22.4	▲ 15.0	▲ 17.1
売上	柏崎	▲ 7.1	0.0	0.0	11.1	▲ 10.0	▲ 10.0	▲ 20.0
	全国	3.9	5.4	▲ 1.3	2.2	0.0	4.2	1.7
採算	柏崎	▲ 64.3	▲ 54.5	▲ 64.3	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 50.0	▲ 40.0
	全国	▲ 21.2	▲ 15.8	▲ 23.6	▲ 20.4	▲ 20.3	▲ 16.7	▲ 17.5
資金繰り	柏崎	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 14.3	▲ 11.1	▲ 20.0	▲ 10.0	▲ 20.0
	全国	▲ 12.1	▲ 12.9	▲ 13.8	▲ 6.6	▲ 15.2	▲ 10.4	▲ 11.7
仕入単価	柏崎	▲ 57.1	▲ 72.7	▲ 78.6	▲ 66.7	▲ 60.0	▲ 60.0	▲ 50.0
	全国	▲ 76.2	▲ 68.3	▲ 67.1	▲ 73.0	▲ 73.0	▲ 64.6	▲ 59.6
従業員	柏崎	21.4	9.1	7.1	0.0	20.0	40.0	40.0
	全国							16.3
資金借入難易感	柏崎	0.0	▲ 9.1	▲ 7.1	▲ 11.1	0.0	0.0	▲ 10.0



<移動平均分析(卸売業)>



【全国卸売業の動向】

輸送費や梱包資材費の高止まりによるコスト負担は継続するものの、設備投資需要の回復に伴う製造業からの引き合い増加や、客足が回復している小売店や飲食・宿泊業からの受注増で、改善。

<日本商工会議所に寄せられた声>

・「今まで自粛傾向にあった大型のイベントや対面での販売事業が復活している。輸送費や梱包資材などのコスト負担の増加により、収益は圧迫されているが、継続的に受注が行えているため、さらなる販路獲得に向けて取り組んでいく」(食料・飲料卸売業)

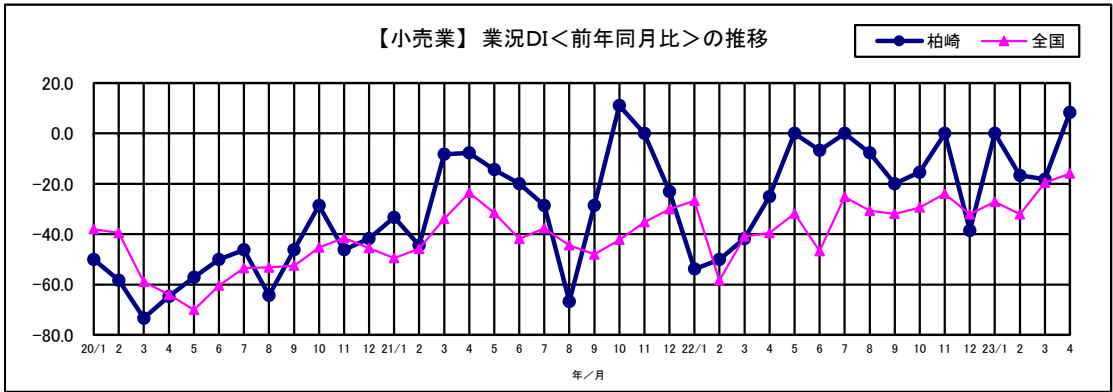
・「コロナの感染が落ち着いているため、設備投資を行う企業が増加しており、関連する仕事の引き合いが増加している」(一般機械器具卸売業)

【柏崎卸売業の動向】

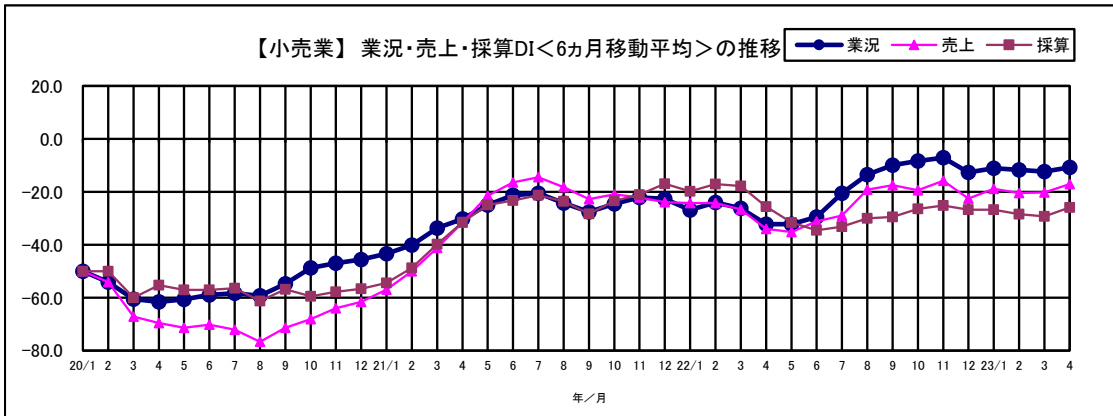
資金繰りDIでマイナス幅の縮小が見られたが、その他のDIは前月同様のDIとなった。先行き見通しでは、資金繰りDI以外においてマイナス幅が縮小する見通しである。

【小売業】

項目		22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	先行き見通し 5月~7月
業況	柏崎	0.0	▲38.5	0.0	▲16.7	▲18.2	8.3	8.3
	全国	▲23.9	▲32.1	▲27.1	▲25.9	▲19.5	▲15.9	▲21.7
売上	柏崎	▲8.3	▲38.5	▲9.1	▲33.3	▲18.2	25.0	16.7
	全国	▲14.1	▲17.8	▲12.8	▲8.6	▲6.8	2.2	▲8.4
採算	柏崎	▲16.7	▲46.2	▲27.3	▲41.7	▲36.4	0.0	▲8.3
	全国	▲27.2	▲33.8	▲28.5	▲28.4	▲23.4	▲18.8	▲24.8
資金繰り	柏崎	▲8.3	▲7.7	▲9.1	▲8.3	▲18.2	0.0	0.0
	全国	▲21.5	▲26.2	▲24.2	▲24.0	▲19.7	▲19.0	▲20.7
仕入単価	柏崎	▲58.3	▲69.2	▲63.6	▲66.7	▲54.5	▲58.3	▲58.3
	全国	▲74.9	▲71.4	▲73.7	▲75.6	▲74.2	▲77.6	▲73.0
従業員	柏崎	33.3	38.5	18.2	33.3	18.2	50.0	50.0
	全国							14.0
資金借入難易感	柏崎	▲8.3	▲15.4	0.0	▲8.3	▲18.2	▲8.3	▲8.3



<移動平均分析(小売業)>



【全国小売業の動向】

物価高による消費者の節約志向は継続しているものの、インバウンド需要の増加による免税品・高付加価値商品の販売が堅調な百貨店や、新年度に向けた新生活用品の需要が増加した日用品店を中心に、改善。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「マスク着用ルールの緩和等でコロナに対する消費者の意識も変化しており、来店数は増加してきている。売上に繋がるよう、販促を図っていく。一方で、電気代等のコスト負担増が著しく、収益の改善が課題である」(百貨店)
- ・「経済活動が回復し、需要が増加したことで、材料や人手の確保に難航しており、対応が追い付かない状況になっている」(楽器小売業)

【柏崎小売業の動向】

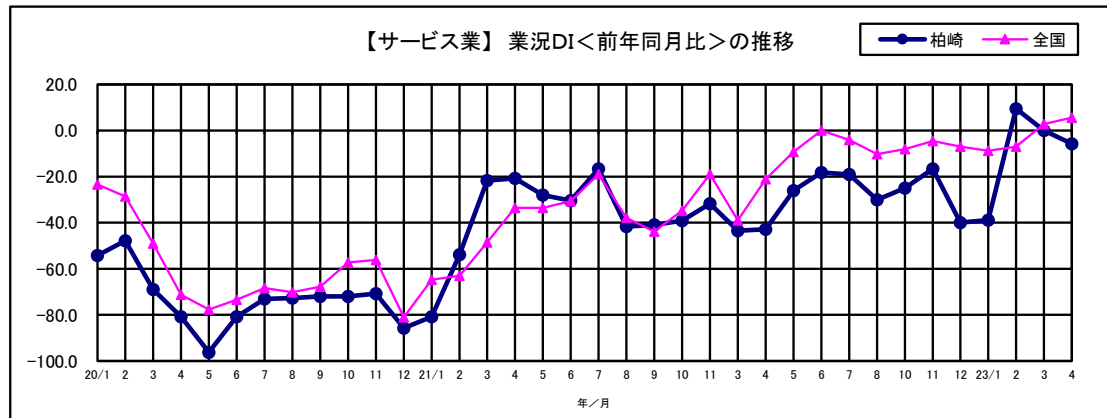
仕入れ単価DIでマイナス幅の拡大が見られたが、業況・売上DIでプラス域に転じるなど全体的に改善した。先行き見通しにおいてもいずれも今月期同様のDIになる見通しである。

<柏崎商工会議所に寄せられた声>

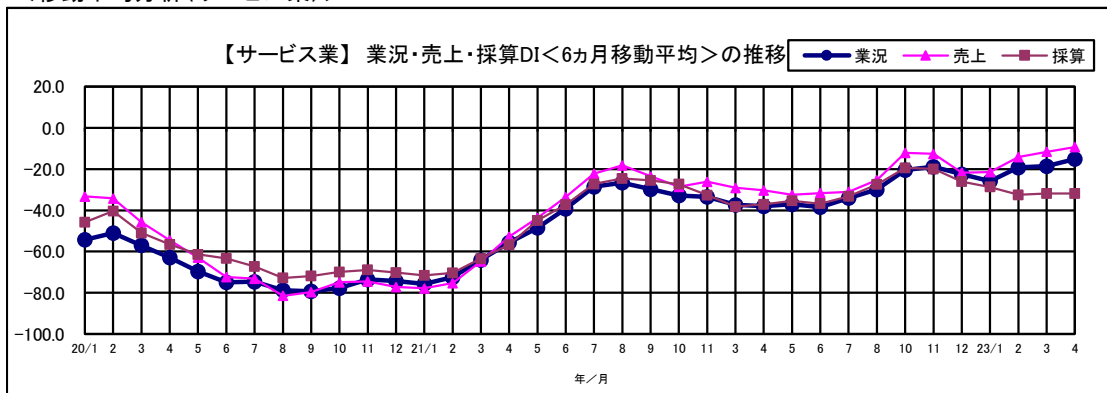
- ・「中旬ごろまでは新学期の準備のために、ノートや筆記具の売れ行きが良かった」
- ・「依然として市内需要は厳しさを感じる。ヒト、モノ、カネの動きが鈍化している。ネット販売は好調。昨対比でも200%以上の売り上げを確保。また、自社ブランド商材の販売も好調で新たな販売拡大も大きく進んでいる。それに伴い、増員を行っている。また、新拠点も視野に入れ展開中。新マーケットの創出により、今後売上規模も数倍に膨れ上がると見込んでいる」

【サービス業】

項目		22年11月	22年12月	23年1月	23年2月	23年3月	23年4月	先行き見通し 5月~7月
業況	柏崎	▲16.7	▲40.0	▲38.9	9.5	0.0	8.3	▲8.3
	全国	▲4.5	▲7.0	▲8.8	▲8.6	2.8	5.6	1.6
売上	柏崎	▲25.0	▲55.0	▲22.2	▲19.0	23.8	8.3	0.0
	全国	16.7	10.1	7.8	10.0	▲19.4	21.5	12.4
採算	柏崎	▲29.2	▲55.0	▲44.4	▲42.9	▲4.8	0.0	▲8.3
	全国	▲7.3	▲15.3	▲14.7	▲18.7	▲8.1	▲1.4	▲4.8
資金繰り	柏崎	▲4.2	▲30.0	▲16.7	▲14.3	▲4.8	▲4.2	▲8.3
	全国	▲15.1	▲16.7	▲13.5	▲17.9	▲11.0	▲11.8	▲11.2
仕入単価	柏崎	▲66.7	▲65.0	▲77.8	▲85.7	▲66.7	▲62.5	▲54.2
	全国	▲67.2	▲66.4	▲67.3	▲69.5	▲67.4	▲68.7	▲60.2
従業員	柏崎	0.0	5.0	22.2	4.8	14.3	4.2	8.3
	全国							32.7
資金借入難易感	柏崎	▲8.3	▲15.0	5.6	0.0	0.0	▲4.2	▲4.2



<移動平均分析(サービス業)>



【全国サービス業の動向】

コロナに対する消費者意識の変化やインバウンド需要の増加で、客足が回復する飲食・宿泊・旅行業を中心に、改善。今後のさらなる客足増加を期待する一方、人手不足で需要増に対応が追い付かないとの声も聞かれた。

<日本商工会議所に寄せられた声>

- ・「コロナに対する消費者の意識変化で、大人数での歓送迎会が増加。依然として食材の仕入単価の上昇や電気代の高騰が続いているため、販売価格も値上げせざるを得ないが、新メニューの開発等で販路拡大を図り、顧客を獲得していく」(飲食店)
- ・「インバウンド需要の増加に加え、バスツアー等の国内旅行も戻ってきており、前年を大きく上回る宿泊数で売上も増加した」(宿泊業)

【柏崎サービス業の動向】

業況・売上DIはいずれもプラス域となった。先行き見通しでは業況・売上・採算・資金繰りDIといずれも悪化する見通しとなっている。